



JAL不當解雇撤回ニュース

No181号 2012.07.22
 発行:JAL解雇撤回国民共闘事務局
 連絡先:航空労組連絡会事務局
 〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
 フェニックスビル内
 TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.jalkaikekai.com>

JALは解雇を撤回し、自主解決せよ！

7/12 日本航空本社前宣伝行動

強風の吹き荒れる7月12日、日本航空本社前行動には120名が参加。安全軽視の儲け優先策を推進し、さらには解雇者を放置したまま大量採用進める日本航空に抗議の声をぶつけるとともに、一日も早く165名の解雇を撤回し自主解決を行うよう、宣伝行動を行いました。当日の弁士の方々の訴えを紹介いたします。

左写真:左から2人目はシュプレヒコールを行う客原告の大池さん



安全と労働者犠牲の公共交通に どれほどの存在意義があるのか

大田区職労 武田委員長

安全を犠牲にし、労働者を犠牲にして儲け優先の公共交通機関に何ほどの存在意義がありますでしょうか。私たちの上部団体は連合所属ですが、私たち区職労は同じ地域に働くものとして、最後まで皆さんと一緒に闘ってまいります。



JALも非正規の闘いも同じ JMIU いすゞ自動車支部原告 五戸さん



JALの闘いも非正規の闘いも、私たちは同じ働く人間として思いは一緒です。一人一人の労働者が協力して、大企業の横暴身勝手を許さない闘いをともに頑張りましょう。次回裁判は9/21、東京高裁101号大法廷、13時からです。

是非傍聴をお願いします。

上場したら転げ落ちるような再建ではダメです 全労連 井上事務局次長

まじめに働けば人間らしい暮らしができる世の中、安心して働き続けられる世の中をつくるために、労働組合が団結して頑張らなければならない。上場したその日が頂点で、あとは坂道を転げ落ちる、そのようなことのないように、今すぐ解決して165名を職場に戻すために私たちも頑張ります。



安全には金がかかります

東京労組三多摩地域支部

西武バス青野分会長



関越道での高速バス事故は、利益優先のもとで起きた悲惨な事故です。安全にお金がかかるのは当然のことであり、儲け優先は許されません。一日も早く165名が職場に戻れるまで、最後まで一緒に闘います。

私たちを人間として扱ってください

パイロット原告 森本さん

日本航空は人間としてやってはいけないことを行った。人間をモノとして扱うこと、働く者から魂を奪い取った。そのようなことをして謝りもしない。TVで稻盛名譽会長は「解雇された方々に申し訳ない」と言っていたが、何故ここで謝れないのか。一日も早く165名全員が職場に戻れるよう、奮闘します。

123便事故の経験者は安全には怯まない

客室乗務員原告 岩間さん

私たちは123便事故の状況やそれ以前に起きた数々の事故を知っている乗務員ばかりです。だからこそ、



安全に対しては怯むことなく厳しく言うのです。案運航を確保するためにはこうした人材こそ必要です。植木社長！新人を採用する前に私たちを早急に職場に戻して下さい。そして正常な労使関係を築き、ともに真のJAL再生をつくりましょう！